

Minamigokko HICKERSNEWS

平成 27 年 2 月 No.194 号



しんねん むか 新年を迎えて

あ
明けましておめでとうございます。

いちがつみつか いえ きんじょ しんめいしゃ はつもうで い しんめいしゃ さがみ こくながや むら
一月三日、家の近所の神明社 さんに初詣 に行きました。この神明社 さんは相模国永谷村

げんざい しもながや ひがしながや せりや ひがしせりや すひと けんこう ゆた く
(現在の下永谷、東永谷、芹が谷、東芹が谷)に住む人たちが健康で豊かに暮らせるようにお

まも くだ うじがみさま ながやがわ とき しゅうごうばしよ あか はし うえ ほう
守り下さる氏神様です。永谷川クリーンアップの時の集 合場所になっている赤い橋の上の方に

あるので、知っている方も多いかもしれませんね。

かえ みち かみさま じんじや おも いえ もど しら
帰り道にふと「サッカーの神様とか神社ってあるのかなあ？」と思い、家に戻って調べてみま
した。

そうしたら、サッカー神社と呼ばれている神社がいくつか見つかりました。

京都の「白峯神宮」、静岡の「魚町稲荷神社」と「小芝八幡宮」、横浜の「師岡熊野神社」

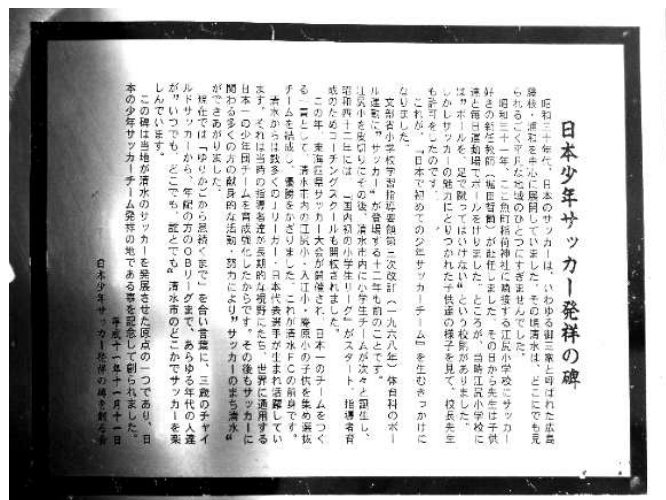
この静岡の「魚町稲荷神社」と「小芝八幡宮」は、「日本少年サッカー発祥の地」と言われている神社だそうです。

「ここは少年サッカーチームのコーチとしては行かないとマズいなあ」と思い、翌日バイクに跨って行ってきました。

神社がある静岡市清水区まで横浜から1時間半くらいで到着。まず、魚町稲荷神社に向かいました。境内に入るとサッカーボールの形をした大きな石碑が目に入ってきます。下の土台には「日本少年サッカー発祥の地」と書いてあります。その横には「日本少年サッカー発祥の碑を創る会」による碑にあり、その文の最後にはこんなことが書いてありました。

「現在では”ゆりかごから息続くまで”を合い言葉に、三歳のチャイルドサッカーから、年配の方のOBリーグまで、あらゆる年代の人たちが“いつでも、どこでも、誰とでも”清水市のどこかでサッカーを楽しんでいます。この碑は当地が清水のサッカーを発展させた原点の一つであり、日本の少年サッカーチーム発祥の地であることを記念して創られました。」

”ゆりかごから息続くまで”って、ちょっといいですね。



ここで、南ヶ丘キッカーズの安全と繁栄をお祈りして次に小芝八幡宮に向かいました。

鳥居の横にサッカーボールの形の石碑があったり、絵馬がサッカーボールの形だったり、ちょっと変わった神社でした。お参りを済ませた後、宮司さんとお会いできたので「サッカー御守」と

ごしゅいん
「御朱印」をいただきました。



奉拝
小芝八幡宮
平成二十八年一月四日



よこはま もろおかくまのじんじゃ よこはましこうほくくもろおかちよう ちか みな い
横浜の師岡熊野神社 (横浜市港北区師岡町 1137) は近いので、皆さんも行ってみたいかが
でしょうか？

ことし みなみがおか みな あんぜん たの す
それでは、今年も南ヶ丘キッカーズの皆さんが安全に楽しく過ごせますように・・・

みなみがおか
南ヶ丘キッカーズ代表 比護信雄

～蹴り納め (12月23日下永谷小学校にて)～







～広報からのお知らせ～

キッカーズニュースではみなさんからのご意見や楽しい話題・試合の写真などの投稿を募集しています。

広報専用アドレス news@minamigaoka-kc.jp

HP管理人アドレス web-master@minamigaoka-kc.jp